

慶應義塾大学病院漢方クリニック活動報告

部長	小川	聡
副部長	渡辺	賢治
客員教授	寺師	睦宗
	秋葉	哲生
講師	石毛	敦
	西村	甲
非常勤講師	石井	弘一
	福澤	素子
	渡邊	賀子
	荒浪	暁彦
	前嶋	啓孝
	山本	雅浩
	入江	祥史

大学として臨床、教育、研究の充実を図るとともに国際化にも大きな成果があった。臨床では月間患者数は1000名～1100名で推移しているが、実態は患者数の増加に伴い、漢方薬の長期投与で患者数を制限する形となっている。特殊外来の「漢方アトピー外来」は皮膚科・看護部・食養科とともに「アトピー生活指導外来」を新設し、月1回の症例検討会を行っている。「漢方女性抗加齢外来」も順調に推移している。

教育では第3学年の選択必修では68名学生が選択した。第4学年は必修科目となり、試験を行った。第4学年の自主選択科目は本年は1名の学生を受け入れ、優秀賞を取った。また、渡辺は医学教育統轄センター委員、カリキュラム委員、学務委員、FD委員長として、漢方のみならず全体の医学部教育に関与している。

研究では大学院生4名が入ったことにより、活気溢れる教室となり、8月の和漢医薬学会では2名が優秀発表賞を取った。

研修生は4名で、寺師・秋葉の両客員教授の指導の下、抄読会などでレベルアップを図っている。国際化では海外からの医師、医学生を受け入れを行っている。

恒例となった市民公開講座は4回目となり、慶應義塾大学三田キャンパスにて750名の参加があった。

著書

- 1) 秋葉哲生, ほか著: 現代漢方を考える, 薬事日報社, 薬事日報社, 2005. 2. 25
- 2) 渡辺賢治, 石毛敦 (分担執筆), 漢方薬の薬理・医科薬理学, 遠藤政夫, 栗山欣弥, 大熊誠太郎, 田中誠太郎, 樋口宗史編, 681-704, 南

山堂, 2005. 9

- 3) 石毛敦: プライマリ・ケア・ファーマシストープライマリリ・ケアにおける薬剤師の役割と実践法ー, エルゼビア, 2005. 9
- 4) Fukuzawa. M.: Sensitivity to cold, weak constitution, and “Mibyuu”, Introduction to KANPO, The Japan Society for Oriental Medicine, ELSEVIER, 180-185, 2005
- 5) 福澤素子: 女性と漢方 (未病の対処), 女性のウェルネス・ガイド (荒木葉子編、共著), からだの科学, 増刊号, 日本評論社, 162-165, 2005
- 6) 渡邊賀子: 女性ホルモンですっきりキレイ (監修), ナツメ社, 東京, 2005. 10. 31

原著

- 1) 秋葉哲生: 医人群像 1「山脇東洋」, 漢方医学, 29 (2): 89, 2005
- 2) 秋葉哲生: 医人群像 2「奥田謙藏」, 漢方医学, 29 (3): 142, 2005
- 3) 秋葉哲生: 医人群像 3「田代三喜」, 漢方医学, 29 (4), 186, 2005
- 4) 秋葉哲生: 医人群像 4「本間棗軒」, 漢方医学, 29 (5), 239, 2005
- 5) 三瀧忠道, 秋葉哲生, ほか: 漢方生薬処方の調剤技術料に関する検討-社団法人日本東洋医学会・生薬に関する保険問題調査会報告-, 日本東洋医学雑誌, 56 (2): 211-220, 2005
- 6) Ohtake N, Yamamoto M, Takeda S, Aburada M, Ishige A, Watanabe K and Inoue M: The herbal medicine Sho-saiko-to selectively inhibits CD8+ T-cell proliferation, Eur. J. Pharmacol, 2005. 1, 10; 507(1-3): 301-10, 2005
- 7) Miura N, Yamamoto M, Fukutake M, Ohtake N, Iizuka S, Ishige A, Sasaki H, Fukuda K, Yamamoto T, Hayakawa S: Anti-CD3 induces bi-phasic apoptosis in murine intestinal epithelial cells: possible involvement of the Fas/Fas ligand system in different T cell compartments, Int Immunol, 2005; 17 (5): 513-22, 2005
- 8) Sakaguchi M, Goto K, Ichiki H, Hattori N, Iizuka A, Yamamoto M, Takeda S, Ishige A, Aburada M, Yasuda M, Yamamoto T: Effects of Byakko-ka-ninjin-to on salivary secretion and bladder function in rats, J Ethnopharmacol, 2005., 102(2): 164-9, 2005
- 9) Anjiki N, Hoshino R, Ohnishi Y, Hioki K, Irie Y,

- Ishige A, Watanabe K. : A Kampo formula Juzen-taiho-to induces expression of metallothioneins in mice , *Phytother Res* , 19(10):915-7, 2005
- 10) Cameron-Schaefer S, Kondo K, Ishige A, Tsuyama S, Uchida K, Hanawa T, Suematsu M, Watanabe K. : Maintaining the Redox-Balance Intact: Gosha-Jinki-Gan but Not Insulin Activates Retinal Soluble Guanylate Cyclase in Diabetic Rats , *Ophthalmic Res* , 20;38(2):95-104, 2005
 - 11) Takei, H, Yamamoto M, et al. The effect of herbal medicine Toki-shakuyaku-san on blood pressure in an Nomega-nitro-L-arginine methyl ester-induced pre-eclampsia rat model during pregnancy and the postpartum period. *J Pharmacol Sci* 98, 255-62, 2005
 - 12) Kaneko, A. Yamamoto M, et al. Intestinal anastomosis surgery with no septic shock primes for a dysregulatory response to a second stimulus. *J Surg Res* in press
 - 13) Tao G, Irie Y, Li DJ, Keung WM. : Eugenol and its structural analogs inhibit monoamine oxidase and exhibit antidepressant-like activity. , *Bioorg Med Chem* 13, 4777-4788, 2005
 - 10) 渡辺賢治 : 漢方はこんな病気に効く, 暮らしと健康, 66-69, 2005
 - 11) 渡辺賢治:かぜをひきやすい・疲れやすい体質を漢方薬で治す, 暮らしと健康, 66-69, 2005
 - 12) 渡辺賢治, 渡辺洋井 : 大塚敬節による『類聚方廣義』解釈(43), 漢方の臨床 52(4), 577-586, 2005
 - 13) 渡辺賢治, 渡辺洋井 : 大塚敬節による『類聚方廣義』解釈(44), 漢方の臨床 52(5), 746-750, 2005
 - 14) 渡辺賢治, 渡辺洋井 : 大塚敬節による『類聚方廣義』解釈(45), 漢方の臨床 52(8), 1237-1243, 2005
 - 15) 渡辺賢治, 渡辺洋井 : 大塚敬節による『類聚方廣義』解釈(46), 漢方の臨床 52(9), 1359-1368, 2005
 - 16) 渡辺賢治, 渡辺洋井 : 大塚敬節による『類聚方廣義』解釈(47), 漢方の臨床 52(10), 1601-1611, 2005
 - 17) 渡辺賢治, 渡辺洋井 : 大塚敬節による『類聚方廣義』解釈(48), 漢方の臨床 52(11), 1863-1872, 2005
 - 18) 渡辺賢治, 秋葉哲生, 西村甲ほか : 新世紀に読む『漢方診療 30 年』(1), 漢方の臨床 52(6), 841-843, 2005
 - 19) 渡辺賢治, 秋葉哲生, 西村甲ほか : 新世紀に読む『漢方診療 30 年』(2), 漢方の臨床 52(7), 1055-1062, 2005
 - 20) 渡辺賢治, 秋葉哲生, 西村甲ほか : 新世紀に読む『漢方診療 30 年』(3), 漢方の臨床 52(8), 1197-1202, 2005
 - 21) 渡辺賢治, 秋葉哲生, 西村甲ほか : 新世紀に読む『漢方診療 30 年』(4), 漢方の臨床 52(9), 1369-1376, 2005
 - 22) 秋葉哲生 : エビデンスの検討が進む・誰もが納得できるように, 科学, 75 (7) : 836-839, 2005
 - 23) 渡辺賢治 : 十全大補湯の使い方, *Medicament News*, 1844 号, pp23, 2005.8.15
 - 24) 渡辺賢治 : ハーバード大学 *Macy Program - Program for Leaders in Healthcare Education*-に参加して, 慶應義塾医学部新聞, 646 号 : pp3, 平成 17 年 8 月 20 日号
 - 25) Tetsuo Akiba: Investigation of safety in recent Kampo clinical studies in Japan、統合医療 (JJIM)、Vol. 2 No1: 41-44, 2005
 - 26) 入江祥史 : 認知症 < 漢方診療 私の極意 (6) > 漢方薬に秘められたパワーを基礎と臨床の両面から追究, *メディカル朝日*, 9 月号, 74-75, 2005

総 説

- 1) 渡辺賢治 : がんの漢方治療～副作用軽減から再発予防まで～, 月刊がん-もつといい日, 14-17, 2005 年 2 月号
- 2) 渡辺賢治 : 西洋医学の目、東洋医学の目, 日本心療内科学会誌, 9, 73-77, 2005
- 3) 西村甲, 渡辺賢治 : 漢方医学講座第 12 回 糖尿病の漢方治療について, 内科専門医会誌, 17, 235-240, 2005
- 4) 西村甲, 渡辺賢治 : 漢方医学講座第 13 回 高血圧の漢方治療について, 内科専門医会誌, 17, 417-421, 2005
- 5) 西村甲, 渡辺賢治 : 漢方医学講座第 14 回 アレルギー性鼻炎の漢方治療について, 内科専門医会誌, 17, 597-602, 2005
- 6) 渡辺賢治 : 漢方薬の国際性を目指して, 日本東洋医学雑誌, 56(1) : 90-95, 2005
- 7) 渡辺賢治 : 国際化が進む漢方医学, 科学, 75(7), 862-864, 2005
- 8) 渡辺賢治 : 網羅的遺伝子発現解析による漢方薬の薬効評価, *Medical Q*, 2005 年 5 月 20 日号
- 9) 渡辺賢治 : 欧米の KAMPO 最新事情, 漢方医学, 29(1) : 10-11, 2005

- 27) 渡辺賢治：米国への Kampo 普及～その戦略と具体策, *Nikkei Medical*, 36-37, 2005 年 10 月号 漢方特集, 2005
- 28) 渡邊賀子：漢方冬季講習第 1 回 この冬こそ '冷え症' 診療を克服する, 性差と医療, Vol. 2 No11, 1321-1324, 2005. 11
- 29) 渡邊賀子：漢方冬季講習第 2 回 この冬こそ '冷え症' 診療を克服する, 性差と医療, Vol. 2 No12, 1457-1460, 2005. 12
- 30) 入江祥史：低血圧症の漢方治療, *Medical Practice*, 22, 153, 2005
- 31) 入江祥史：片頭痛の漢方治療, *Medical Practice*, 22, 325, 2005
- 32) 入江祥史：重要処方を理解する (その 4: 六味丸), *中医臨床*, 26(1) 72-77, 2005
- 33) 入江祥史：中医学診療に関する Q&A, *中医臨床*, 26(2) 55-59, 2005
- 34) 入江祥史：感冒の漢方治療, *Medical Practice*, 22, 1262, 2005
- 35) 入江祥史：感冒後の長引く咳の漢方治療, *Medical Practice*, 22, 1429, 2005
- 36) 入江祥史：便秘の漢方治療, *Medical Practice*, 22, 1630, 2005
- 37) 入江祥史：中医学診療に関する Q&A (その 2), *中医臨床*, 26(3) 62-66, 2005
- 38) 山本雅浩：肝障害予防 (基礎編) -- 茵陳蒿湯と肝疾患, *小児外科*, 37, 316-319 (2005).
- 39) Yamamoto, M., et al: Inchinko-to. *Drugs of the Future*, in press, 2005
- 40) 渡辺賢治：漢方との上手な付き合い方, *Ippo*, 1 号, 76-77, 2005. 12
- 田雄大, 五十嵐信智, 秋葉哲生, 入江祥史, 渡邊賀子, 福澤素子, 石井弘一, 渡辺賢治, 木村孝良, 杉山清：漢方薬服用患者へのアンケート調査 I—漢方薬に対する患者の認識—, 第 22 回和漢医薬学会大会, 東京, 2005. 8
- 6) 五十嵐信智, 武藤麻美, 志村彩香, 竹沢崇, 戸田雄大, 伊藤清美, 秋葉哲生, 入江祥史, 渡邊賀子, 福澤素子, 石井弘一, 渡辺賢治, 木村孝良, 杉山清：漢方薬服用患者へのアンケート調査 II—西洋薬との併用について—, 第 22 回和漢医薬学会大会, 東京, 2005. 8
- 7) 齊藤奈緒子, 早川由隆, 藤本彩香, 戸田雄大, 五十嵐信智, 伊藤清美, 杉山清, 山本雅浩, 石毛敦, 入江祥史, 渡辺賢治：薬物代謝酵素の発現に及ぼす十全大補湯の影響と腸内細菌の関与, 第 22 回和漢医薬学会大会, 東京, 2005. 8
- 8) 酒井梨紗, 村田健, 入江祥史, 石毛敦, 渡辺賢治, 安食菜穂子：生薬成分 FERULIC ACID のパーキンソンモデルマウスに対する作用の検討, 第 22 回和漢医薬学会大会, 東京, 2005. 8
- 9) 安食菜穂子, 酒井梨紗, 入江祥史, 石毛敦, 渡辺賢治：パーキンソン病モデルマウスに対する当帰湯の効果 (第 2 報), 第 22 回和漢医薬学会大会, 東京, 2005. 8
- 10) 戸田雄大, 星野利津子, 石毛敦, 今津嘉宏, 西村甲, 渡辺賢治, 栗原直人, 山本雅浩, 谷山光恵, 三浦尚子：肝部分切除マウスモデルにおける血中アンモニア濃度上昇及び十全大補湯投与による抑制作用, 第 22 回和漢医薬学会大会, 東京, 2005. 8
- 11) 宗形佳織, 石毛敦, 入江祥史, 渡辺賢治, 福武昌人, 谷山光恵, 山本雅浩, 安食菜穂子, 日置恭司, 大西保行：網羅的遺伝子発現解析を用いた漢方薬の研究及び腸内細菌の影響—6. IRF7 発現に対する十全大補湯の影響は宿主によって異なる—, 第 22 回和漢医薬学会大会, 東京, 2005. 8
- 12) 加藤美帆, 石毛敦, 入江祥史, 渡辺賢治, 安食菜穂子, 山本雅浩, 谷山光恵, 木邊量子, 辨野義己：HSP70 及び HSP105 の mRNA 発現及び腸内細菌叢に対する十全大補湯の影響, 第 22 回和漢医薬学会大会, 東京, 2005. 8
- 13) 坂口, 山本ほか：頻尿治療薬による唾液分泌抑制および膀胱収縮に与える白虎加人参湯の作用, 第 7 回応用薬理シンポジウム, 千葉, 2005. 8
- 14) 酒井梨紗, 小見山貴継, 清和千佳, 須川誠, 入江祥史, 石毛敦, 渡辺賢治, 小島周二, 阿相皓晃：The function phospho-MBP in

学会発表

- 1) 武藤麻美, 志村彩香, 竹沢崇, 伊藤清美, 杉山清, 秋葉哲生, 入江祥史, 渡邊賀子, 福澤素子, 石井弘一, 渡辺賢治, 木村孝良：漢方薬と西洋薬との併用に伴う問題点の解析, 第 56 回日本東洋医学会学会総会, 富山, 2005. 5
- 2) 寺師睦宗：FSH 値の高い人工授精 10 回、体外受精 3 回の不妊症, 第 56 回日本東洋医学会学会総会, 富山, 2005. 5
- 3) 秋葉哲生：「失敗から学ぶ」頸髄症の一例、大柴胡湯と桂姜棗草黄辛附湯, 第 56 回日本東洋医学会学会総会, 富山, 2005. 5
- 4) 渡辺賢治：医学教育における漢方の役割：ワークショップ漢方医学の現状と問題点-カリキュラムプランニングに際しての障壁と解決策, 第 37 回日本医学教育学会大会, 東京, 2005. 7
- 5) 伊藤清美, 武藤麻美, 志村彩香, 竹沢崇, 戸

developing mouse brain, 第 48 回日本神経化学会大会, 福岡, 2005. 9

- 15) Miura N, Fukutake M, Yamamoto M, Iizuka S, Tsuchiya N, Ishige A, Watanabe K: The Kampo Medicine Shosaikoto selectively inhibits CD8+T cell proliferation, 日本免疫学会総会, 横浜, 2005. 12

講演, 講座

- 1) 渡辺賢治: 西洋医学の目、東洋医学の目, 第 8 回日本心療内科学会学術大会, 仙台, 2005. 1
- 2) Watanabe K : Kampo Medicine and Microcirculation 6th Asian Microcirculation Congress, Tokyo, 2005. 2
- 3) 入江祥史: 藤沢市医師会東洋医学研究会, 藤沢市医師会, 2005. 2. 7
- 4) 寺師睦宗: 傷寒論解説, 日本漢方医学研究所, 東京, 2005. 2. 10
- 5) 秋葉哲生: 漢方医学の診断系について, 創薬資源科学講座臨時講義, 千葉大学薬学部大学院薬学研究院, 2005. 2. 10
- 6) 寺師睦宗: 漢方診療医典 (薬方解説), JPS 漢方特別講座, 東京, 2005. 2. 13
- 7) 寺師睦宗: 金匱要略, 漢方特別講座, 日本漢方協会, 東京, 2005. 2. 20
- 8) 秋葉哲生: 「医療用漢方製剤と保険診療」歴史とその現状, 日本薬剤師研修センター講義, 共立講堂, 2005. 2. 20
- 9) 荒浪暁彦: アレルギー疾患の漢方治療, 静銀ホールユーフォーリア, 2005. 2. 27
- 10) 秋葉哲生: 「漢方保険審査の動向」(その一), 日本東洋医学会東京都部会, 町田市民フォーラム, 2005. 3. 6
- 11) 寺師睦宗: 傷寒論解説, 日本漢方医学研究所, 東京, 2005. 3. 10
- 12) 秋葉哲生: 「漢方保険審査の動向」(その二), 日本東洋医学会専門医制度関東甲信越地区春季学術講演会, 日本教育会館一ツ橋ホール, 2005. 3. 13
- 13) 秋葉哲生: <健康メモ> 『初夏に多い病気と漢方治療』, NHK FMラジオ「ひるどき情報千葉」, 2005. 4. 12
- 14) 寺師睦宗: 傷寒論解説, 日本漢方医学研究所, 東京, 2005. 4. 14
- 15) 寺師睦宗: 平成傷寒論, 九州漢方臨床研究会, 福岡, 2005. 4. 17
- 16) Watanabe K: Effect of Kampo Medicine “Dai-kenchu-to” on gastrointestinal motility, 6th International Gastric Cancer Congress, Tokyo, 2005. 5. 4-7
- 17) 寺師睦宗: 傷寒論解説, 日本漢方医学研究所, 東京, 2005. 5. 12
- 18) 寺師睦宗: 漢方診療の実際 (症状別治療解説), 漢方実践講座, 名古屋, 2005. 6. 5
- 19) 荒浪暁彦: アトピー性皮膚炎の漢方治療, 静岡県立大学, 2005. 6. 5
- 20) 寺師睦宗: 傷寒論解説, 日本漢方医学研究所, 東京, 2005. 6. 9
- 21) 荒浪暁彦: アレルギー疾患の漢方治療, 三島文化会館, 2005. 6. 11
- 22) 荒浪暁彦: アレルギー疾患の漢方治療, 浜松フォルテホール, 2005. 6. 19
- 23) 寺師睦宗: 漢方治療の方略—正攻法と奇計法—, 漢方学術講演会, 神戸, 2005. 7. 3
- 24) Watanabe K and Plotnikoff G.A.: Kampo Clinical Trials: Challenges and Lessons. The 10th International Symposium on Traditional Medicine, Toyama, 2005. 7. 14- 15
- 25) 寺師睦宗: 傷寒論解説, 日本漢方医学研究所, 東京, 2005. 7. 14
- 26) 寺師睦宗: 漢方治療の方略—正攻法と奇計法—, 漢方夏期大学, 名古屋, 2005. 7. 16
- 27) 荒浪暁彦: アレルギー疾患の漢方治療, 静岡産業経済会館, 2005. 7. 24
- 28) 西村甲: 治療中・後の不快感の対策, 定例フォーラム血液がんくより良い治療選択、より快適な治癒をめざして>, 血液情報広場・つばさ, 東京 (住友不動産株式会社西新宿ホール), 2005. 7. 30
- 29) 秋葉哲生: 「藤平健先生の御生涯と漢方治療」, 東洋医学会青森県支部会特別, 弘前市医師会館, 2005. 7. 31
- 30) 寺師睦宗: 類聚方広義, 漢方学術講演会, 鹿児島, 2005. 8. 7
- 31) 寺師睦宗: 漢方基礎講座, 石見漢方特別講演会, 島根, 2005. 8. 28
- 32) 寺師睦宗: 平成傷寒論, 九州漢方臨床研究会, 福岡, 2005. 9. 4
- 33) 寺師睦宗: 傷寒論解説, 日本漢方医学研究所, 東京, 2005. 9. 8
- 34) 秋葉哲生: 「藤平健先生の御生涯と漢方治療」, 県北漢方研究会, 郡山, 2005. 9. 14
- 35) 寺師睦宗: 漢方処方解説, 漢方実践講座, 名古屋, 2005. 9. 18
- 36) 西村甲: 小児の漢方治療, 明治薬科大学薬剤師生涯学習講座特別講演, 2005. 10. 2
- 37) 寺師睦宗: 傷寒論解説, 日本漢方医学研究所, 東京, 2005. 10. 6
- 38) 荒浪暁彦: 重症アトピー・ニキビの漢方治療, 静岡産業経済会館, 2005. 10. 10

- 39) 荒浪暁彦：皮膚科領域の漢方治療，浜松医科大学，2005. 10. 21
- 40) 秋葉哲生：日本の漢方医学の臨床研究と安全性の検討について **Investigation of safety in Kampo clinical studies in Japan**」，第五回日本臨床中医薬学会教育，川崎市産業振興会館，2005. 10. 29
- 41) 寺師睦宗：類聚方広義，漢方医学古典研究講座，沖縄，2005. 11. 3
- 42) 入江祥史：明治薬科大学薬剤師生涯学習講座漢方特別講演，明治薬科大学，2005. 11. 6
- 43) 寺師睦宗：傷寒論解説，日本漢方医学研究所，東京，2005. 11. 10
- 44) 石毛敦：天然薬物の開発と応用シンポジウム，2005. 11. 11
- 45) 荒浪暁彦：皮膚科領域の漢方治療，広島リーガロイヤルホテル，2005. 11. 12
- 46) 寺師睦宗：漢方診療医典（薬方解説），JPS 漢方特別講座，東京，2005. 11. 13
- 47) 秋葉哲生：クリニカル・エビデンスに基づく漢方治療の可能性，日本東洋医学会茨城県部会，筑波技術大学，つくば市，2005. 11. 13
- 48) 秋葉哲生：「医療用漢方製剤と保険診療」歴史とその現状，日本薬剤師研修センター講義，共立講堂，2005. 11. 20
- 49) 秋葉哲生：＜健康メモ＞『冬に多い病気と漢方治療』，NHKFM ラジオ「ひるどき情報千葉」，2005. 11. 22
- 50) 寺師睦宗：生薬に関する懇談会，（沢瀉、漢方・臨床），日本生薬学会関東支部，東京，2005. 12. 3
- 51) 寺師睦宗：傷寒論解説，日本漢方医学研究所，東京，2005. 12. 8
- 52) 寺師睦宗：平成傷寒論，九州漢方臨床研究会，福岡，2005. 12. 11
- 53) Watanabe K : **Kampo Medicine -A model of integrative Medicine in Japan , Harmonization of Traditional and Modern Medicine, Melbourne, 2005. 12. 12-14**
- 54) 寺師睦宗：類聚方広義，漢方学術講演会，鹿児島，2005. 12. 25
- 6) 石毛敦：明治薬科大学生涯学習講座，2005. 7
- 7) 石毛敦：明治薬科大学生涯学習講座，2005. 8
- 8) 石毛敦：名古屋市立大学漢方セミナー，2005. 8
- 9) 石毛敦：明治薬科大学生涯学習講座，2005. 9
- 10) 石毛敦：明治薬科大学生涯学習講座，2005. 10
- 11) 石毛敦：静岡県立大学薬学部市民講座，2005. 10
- 12) 石毛敦：筑波大学漢方講義，2005. 11
- 13) 石毛敦：明治薬科大学生涯学習講座，2005. 11
- 14) 石毛敦：東邦大学医学部薬理学講義，2005. 11
- 15) 石毛敦：名古屋大学医学部保険学科講義，2005. 12
- 16) 石毛敦：明治薬科大学生涯学習講座，2005. 12

その他の活動

- 1) 秋葉哲生：Online reviewer of the **Pediatric Infectious Disease Journal**, since January 2005
- 2) 秋葉哲生：Online reviewer of **Archives of Disease on Childhood**, since 2005. 5. 7

講義

- 1) 石毛敦：高知大学医学部大学院特別セミナー，2005. 1
- 2) 石毛敦：東京女子医大バイオメディカル・カリキュラム，2005. 3
- 3) 石毛敦：明治薬科大学生涯学習講座，2005. 4
- 4) 石毛敦：明治薬科大学生涯学習講座，2005. 5
- 5) 石毛敦：明治薬科大学生涯学習講座，2005. 6